

市民の皆さんの自由投稿コーナー



市民大学で学び、卒業後は一緒に
まちづくりに参加しませんか！

やしお市民大学OB会 会長 小林 義和

やしお市民大学OB会は、市民大学の卒業生で結成され、共に学びながら会員相互の親睦を図り、地域社会に根差した市民が暮らしやすいまちづくりに参加することを目的とし、現在111名の会員が活動しています。当会には、自主企画活動と部会運営活動があり、自主企画活動には、啓発セミナー(平成23年度は「高齢社会を迎えて、今地域で出来る事」他)、学長懇話会(学長：多田市長、部会活動発表会、行政との協働企画など)があり、市民大学で学んだことを活かし、まちづくりに参加しています。



料理部会調理実習

部会運営活動には7つの部会があり、会員はそれぞれが得意の分野で活躍しています。
防災：自主防災組織への調査、普通救命士講習会、セミナー、見学など
料理：料理実習、研修や見学など
パソコン：Word等の基礎・個別相談等を通じたPCの普及など
園芸：中川フラワーパークの自由花壇の手入れと園内運営への協力など
歴史：由緒ある歴史建造物・神社仏閣等の探訪など
俳句：俳句を通じた生涯学習など
歌街：歌を通じた地域コミュニ

ニティづくりなど
昨年12月の料理部会では、パーティー形式の調理実習を八幡公民館で開催しました。その後、会場を中馬場公民館に移し、多田学長、石黒副学長(教育長)、その他の関係者をお招きして「お楽しみ会」を実施しました。余興として「歌街部会」により「川に抱かれて」の合唱などが行われ、期を越えた親睦・交流部会同士の交流と有意義な1日を過ごしました。
当会の活動は、「やしお市民大学OB会通信」に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。

やしおの活用方法を提案! まちづくりフォーラム



3月11日、八条公民館で、八潮街並みづくり100年運動実行委員会による第6回まちづくりフォーラムが行われ、約120人の方が参加しました。
今回のフォーラムでは「やしおのツカイカタ」をテーマに、これまでの1年間の取り組みについて、茨城大学、神奈川大学、神戸大学、東京理科大学、日本工業大学、筑波大学からの成果報告や研究提案が行われたほか、東京農業大学から中川周辺地区における景観に関する調査研究について報告がありました。新たな発想で活用方法が提案され、参加者を交え、活発な意見交換が行われました。

今が見ごろ! フラワーパークの花桃



3月12日から4月1日まで、中川やしおフラワーパークで、「第7回やしお花桃まつり」が開催されました。
今年の花桃は、例年に比べ開花が遅めでしたが、団体や個人などが管理する花壇には、さまざまな花などが植えられ、満開の菜の花とともに来場者の目を楽しませていました。
また、3月17日、18日、24日、25日には花桃ライブや模擬店などの特別イベントも開催され、まつりの開催期間中、約2万8,000人の来場者でにぎわいました。
なお、花桃は今が見ごろです。

東日本大震災からの復興を願って



3月25日から、資料館で、「失われた街～八潮展～」が開催されています。
東日本大震災の大津波によって、約35万棟の建物が失われ被害を受けました。復興へ向けて地域の方々の復興の契機となることを願い、震災によって失われた街や村を縮尺500分の1の模型で復元したり、パネルで震災の様子を展示しています。
この展示は、4月21日まで開催されています。東日本大震災による自然の脅威や被害など認識し、事実を後世に語り継ぐためにもぜひご覧ください。

ドキドキしながら風船をギユ!



3月30日、わんぱる(だいばら児童館)で、「小学生春休みイベント バルーンアート」が行われました。
参加した8人は、バルーンアート用の風船に空気を入れ、顔、足、胴体などの順番で風船をひねりながら形を整え、動物をつくりました。
風船をひねる時は、割れてしまうのではないかとドキドキした様子が見られ、途中で風船が割れてがっかりしたり、緊張した状態から解き放たれて笑いだしたりしていました。
何度も挑戦して、納得した作品が出来上がり、参加者は満足した表情を浮かべていました。

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日(新聞休刊日を除く)に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内10カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、5月10日(木)です。